Cisco Sx220シリーズスマートスイッチでの 802.1Xポート認証の設定

目的

この記事の目的は、Sx220シリーズスマートスイッチでポート認証を設定する方法を示すことで す。

802.1Xポート認証を使用すると、デバイスの各ポートに802.1Xパラメータを設定できます。認証 を要求するポートはサプリカントと呼ばれます。オーセンティケータは、サプリカントに対して ネットワークガードとして機能するスイッチまたはアクセスポイントです。オーセンティケータ は認証メッセージをRADIUSサーバに転送して、ポートの認証と情報の送受信を可能にします。

適用可能なデバイス

・ Sx220シリーズ

[Software Version]

• 1.1.0.14

ポート認証の設定

ステップ1:スイッチのWebベースユーティリティにログインし、Security > 802.1X > Port Authenticationの順に選択します。



ステップ2:設定するポートのオプションボタンをクリックし、Editをクリックします。

2	3	GE3	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
\odot	4	GE4	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	5	GE5	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	6	GE6	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	7	GE7	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	8	GE8	N/A	Auto	Disabled	Enabled	Enabled
0	9	GE9	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	10	GE10	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	11	GE11	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	12	GE12	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	13	GE13	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	14	GE14	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	15	GE15	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	16	GE16	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	17	GE17	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	18	GE18	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	19	GE19	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	20	GE20	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	21	GE21	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	22	GE22	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	23	GE23	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	24	GE24	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	25	GE25	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
0	26	GE26	N/A	Disabled	Disabled	Disabled	Enabled
	Copy Set	tings	Ed	it			

注:この例では、ポートGE4が選択されています。

ステップ 3:Edit Port Authenticationウィンドウが表示されます。Interfaceドロップダウンリスト から、指定したポートが手順2で選択したポートであることを確認します。それ以外の場合は、ド ロップダウン矢印をクリックして適切なポートを選択します。

Port GE4 Interface: Administrative Port Control: Disabled Force Unauthorized 🔍 Auto Force Authorized RADIUS VLAN Assignment: Disabled Reject Static Guest VLAN: Enable

ステップ 4: Administrative Port Controlのオプションボタンを選択します。これにより、ポート の許可状態が決まります。次のオプションがあります。

- Disabled:802.1Xを無効にします。これはデフォルトの状態です。
- Force Unauthorized:インターフェイスを無許可の状態に移行することで、インターフェイスへのアクセスを拒否します。スイッチは、インターフェイスを介してクライアントに認証サービスを提供しません。
- Auto:スイッチでポートベースの認証と認可を有効にします。インターフェイスは、スイッチとクライアント間の認証交換に基づいて、許可または不正な状態の間を移動します。
 Force Authorized:認証なしでインターフェイスを許可します。

Interface:	Port GE4 V
Administrative Port Control:	 Disabled Eorce Unauthorized Auto Force Authorized
RADIUS VLAN Assignment:	 Disabled Reject Static
Guest VLAN:	Enable

注:この例では、Autoが選択されています。

ステップ5:(オプション)RADIUS VLAN割り当てのオプションボタンを選択します。これにより 、指定したポートでダイナミックVLAN割り当てが有効になります。次のオプションがあります 0

- Disabled:VLAN許可結果を無視し、ホストの元のVLANを保持します。これはデフォルトの
- アクションです。
 Reject:指定されたポートがVLANで許可された情報を受信した場合、その情報を使用します。ただし、VLANで許可された情報がない場合、ホストは拒否され、許可されません。
 Static:指定されたポートがVLANで許可された情報を受信すると、その情報が使用されます。
- す。ただし、VLANで許可された情報がない場合は、ホストの元のVLANが保持されます。

注:RADIUSからのVLAN認証情報があるが、VLANがDevice Under Test(DUT)で管理上作成されて いない場合、VLANは自動的に作成されます。この例では、Staticが選択されています。

Interface:	Port GE4 🔻
Administrative Port Control:	 Disabled Force Unauthorized Auto Force Authorized
RADIUS VLAN Assignment:	 Disabled Reject Static
Guest VLAN:	Enable

ヒント:ダイナミックVLAN割り当て機能を動作させるには、スイッチでRADIUSサーバから次の VLAN属性を送信する必要があります。

- [64] Tunnel-Type = VLAN (タイプ13)
- [65] Tunnel-Medium-Type = 802(タイプ6)
- [81] Tunnel-Private-Group-Id = VLAN ID

ステップ6:(オプション)不正なポートにゲストVLANを使用するには、ゲストVLANのEnableチ ェックボックスにチェックマークを入れます。



手順 7 : Periodic ReauthenticationのEnableチェックボックスにチェックマークを入れます。これ により、指定された再認証期間の後にポートの再認証の試行が有効になります。

Interface:	Port GE4 V
Administrative Port Control:	 Disabled Force Unauthorized Auto Force Authorized
RADIUS VLAN Assignment:	 Disabled Reject Static
Guest VLAN:	Enable
Periodic Reauthentication:	Enable

注:この機能はデフォルトで有効になっています。

ステップ 8:Reauthentication Periodフィールドに値を入力します。これは、ポートを再認証する 時間(秒)です。

Interface:	Port GE4 V
Administrative Port Control:	 Disabled Force Unauthorized Auto Force Authorized
RADIUS VLAN Assignment:	 Disabled Reject Static
Guest VLAN:	Enable
Periodic Reauthentication:	Enable
Reauthentication Period:	3600
Reauthenticate Now:	

注:この例では、デフォルト値の3600が使用されています。

ステップ9:(オプション)Reauthenticate Nowチェックボックスをオンにして、即時のポート再 認証を有効にします。

注:Authenticator Stateフィールドには、認証の現在の状態が表示されます。

Interface:	Port GE4 🔻
Administrative Port Control:	 Disabled Force Unauthorized Auto Force Authorized
RADIUS VLAN Assignment:	 Disabled Reject Static
Guest VLAN:	Enable
Periodic Reauthentication:	Enable
Reauthentication Period:	3600
Reauthenticate Now:	
Authenticator State:	N/A

注:ポートがForce AuthorizedまたはForce Unauthorized状態でない場合は、Autoモードであり、 認証者は進行中の認証の状態を表示します。ポートが認証されると、状態はAuthenticatedと表示 されます。

ステップ 10:Max Hostsフィールドに、特定のポートで許可される認証済みホストの最大数を入 力します。この値は、マルチセッションモードでのみ有効です。

Interface:	Port GE4 V
Administrative Port Control:	 Disabled Force Unauthorized Auto Force Authorized
RADIUS VLAN Assignment:	 Disabled Reject Static
Guest VLAN:	Enable
Periodic Reauthentication:	Enable
Reauthentication Period:	3600 :
Reauthenticate Now:	
Authenticator State:	N/A
Max Hosts:	256

注:この例では、デフォルト値の256が使用されています。

ステップ 11Quiet Periodフィールドには、認証の交換に失敗した後にスイッチがクワイエット状態を維持する秒数を入力します。スイッチがQuiet状態の場合は、スイッチがクライアントからの 新しい認証要求をリッスンしていないことを意味します。

Reauthentication Period:	3600
Reauthenticate Now:	
Authenticator State:	N/A
🌣 Max Hosts:	256
Quiet Period:	60

注:この例では、デフォルト値の60が使用されています。

ステップ 12Resending EAPフィールドに、スイッチが要求を再送信する前にサプリカント(クラ イアント)からの拡張認証プロトコル(EAP)要求またはアイデンティティフレームへの応答を待 機する秒数を入力します。

Reauthentication Period:	3600
Reauthenticate Now:	
Authenticator State:	N/A
Max Hosts:	256
Quiet Period:	60
Resending EAP:	30

注:この例では、デフォルト値の30が使用されます。

ステップ 13Max EAP Requestsフィールドに、送信できるEAP要求の最大数を入力します。定義 された期間(サプリカントタイムアウト)後に応答が受信されない場合、認証プロセスが再起動 されます。

Reauthentication Period:	3600
Reauthenticate Now:	
Authenticator State:	N/A
Max Hosts:	256
Quiet Period:	60
Resending EAP:	30
Max EAP Requests:	2

注:この例では、デフォルト値の2が使用されます。

ステップ 14:Supplicant Timeoutフィールドに、EAP要求がサプリカントに再送信されるまでの 経過時間を秒数で入力します。

Max Hosts:	256
Quiet Period:	60
Resending EAP:	30
Max EAP Requests:	2
Supplicant Timeout:	30

注:この例では、デフォルト値の30が使用されます。

ステップ 15:Server Timeoutフィールドに、スイッチが認証サーバに要求を再送信するまでの経 過時間を秒数で入力します。

🌣 Max Hosts:	256		
Quiet Period:	60		
Resending EAP:	30		
Max EAP Requests:	2		
Supplicant Timeout:	30		
Server Timeout:	30		
Apply Close			

注:この例では、デフォルト値の30が使用されます。

ステップ 16 : [APPLY] をクリックします。

これで、スイッチのポート認証が正常に設定されました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。